館蔵展

喜多方市美術館のコレクションは、福島県内を拠点に活動している作家、あるいは福島県に特別の思い入れのある作家、そして喜多方・会津地方にゆかりのある作家の作品を中心に収蔵されています。「館蔵展」は当館が収蔵してきたコレクションと、新たに収集した作品を紹介する企画展です。

本展では「あなたが選ぶ喜多方市美術館のコレクション」と「公募：ふるさとの風景展 in 喜多方」、「喜多方美術倶楽部と森田恒友」という３つのテーマで約50点の作品を紹介します。

あなたが選ぶ喜多方市美術館のコレクション

当館では2019年４月20日～8月31日の開館期間中、来館の皆様に当館のコレクションから「もう一度観たい作品」などを３点選んで投票してもらいました。集計結果から上位５点と寄せられたコメントなどもあわせて紹介します。

公募：ふるさとの風景展 in 喜多方

「公募：ふるさとの風景展 in 喜多方」は、1995（平成7）年の開館当初から続く喜多方市美術館主催の公募展です。

今回は、「ふるさとの風景展 in喜多方」の第１回から第24回までの大賞作品と、招待作品などを紹介します。各作品からは作家独自の視点からなる「ふるさと」を感じることが出来ます。それぞれが思い描くふるさとの風景をご覧ください。

長谷川雄一《タルホの夜》1997 年

靉　嘔《アートチョーク》1995 年

長部　靖《奥山の池塘》1995 年

鷺　邦明《春を待つ》2018 年

喜多方美術倶楽部と森田恒友

森田恒友（1881-1933）は埼玉県出身で、詩情豊かな優しい田園風景を描く作家として知られています。一時期、山都村（現喜多方市山都町）にある喜多方美術倶楽部会長の田代家に滞在し、会津地方の風景画を描きました。

今回、福島県立美術館で開催中の「森田恒友展」の共同企画として当館では「喜多方美術倶楽部と森田恒友」をテーマに、その他ゆかりある作家も紹介します。

森田恒友展 Morita Tsunetomo : A Retrospective

会　　期：2019年11月23日（土・祝）～
　　2020年1月19日（日）
休 館 日：月曜日（ただし、1月13日（月）は開館）、1月14日（火）、
　　年末年始（12月28日～1月4日）
開館時間：午前9時30分～午後5時
　　（最終入館は午後4時30分まで）
場　　所：福島県立美術館　〒960-8003　福島市森合字西養山1番地
　　電話：024-531-5511　詳しくはお問合せください。

森田恒友《城址》1916 年
※会津若松城址
埼玉県立近代美術館所蔵
※本作品は福島県立美術館で展示

学芸員による作品解説

日　時　2019 年 12/22（日）、2020 年 1/12（日）
　　各日 14：00～
場　所　喜多方市美術館内
参加費　無料　※申込不要、当日観覧券が必要です。

◇ 交通アクセス

- JR 喜多方駅から約 1.5 km　徒歩 20 分　タクシーで５分
- 磐越自動車道会津若松 IC から約 19 km　車で 25 分
- 磐越自動車道会津坂下 IC から約 20 km　車で 25 分
- 会津縦貫道喜多方 IC から約 4 km　車で 10 分

＊喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください

次回展覧会のお知らせ
高校生・あいづ美術展
2020 年 1 月 23 日（木）～ 2 月 9 日（日）

KITAKATA CITY MUSEUM OF ART

〒966-0094　福島県喜多方市字押切2-2
Tel.0241-23-0404　Fax.0241-23-0406
URL: http://www.kcmofa.com/